

2026年度

新入生調査実施報告



慶應義塾大学

教学マネジメント推進センター

新入生調査について

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

教学マネジメント推進センターでは、2022年度より、学部 に在学する学生を対象とした調査を実施しており、2024年度より、質問項目の一部見直しを行いました。入学から卒業までの学生調査を実施することによって、学修行動(学習時間、意欲、満足度など)や学修成果の達成度を把握し、大学および各学部における教育プログラムの見直し・改善に活用することを企図しています。

新入生調査の主な目的

- ・高校までのバックグラウンドを中心に、全体的な新入生の特徴・傾向を把握します。
- さらに、入学後の各調査と組み合わせることによって、学生の学びの成果を可視化します。
- ・大学の志望状況を把握することで、入学広報活動の一助とします。

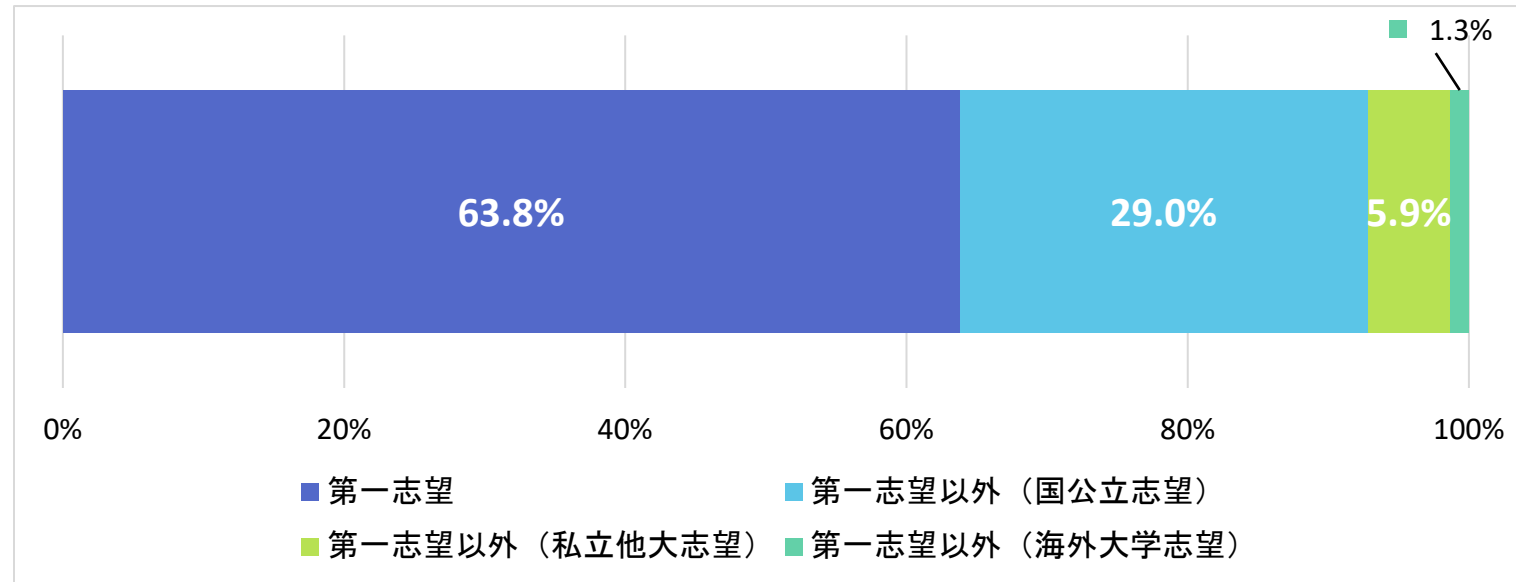
調査概要

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

<u>対象者</u>	2025年9月および2026年4月入学の学部新入生(再入学・編入学含む)
<u>実施期間</u>	(9月入学)2025年10月1日～2025年10月31日 (4月入学)2026年4月16日～2026年5月15日
<u>実施方法</u>	在学生向けポータルサイト(K-Support)によるアンケート機能を利用
<u>回答数</u>	1916件/6673件 (回答率:約28.7%)
<u>調査主体</u>	教学マネジメント推進センター／教学マネジメント推進室

1 志望状況

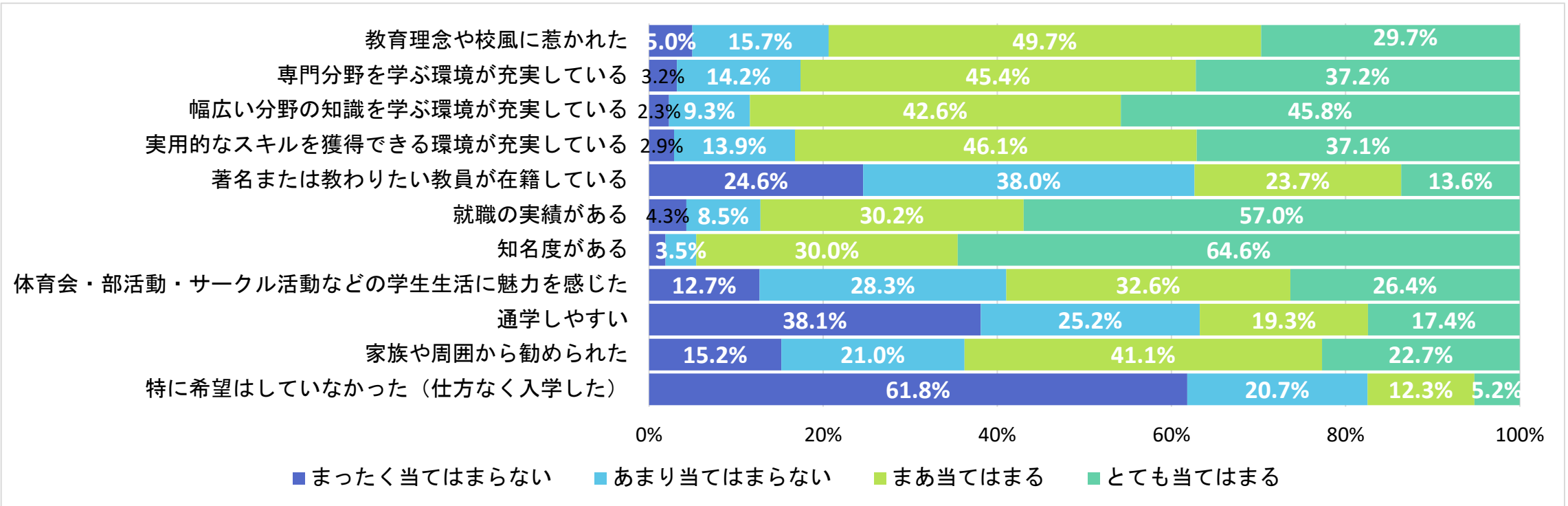
Q 本学は、あなたの第一志望の大学でしたか



・回答者1,916名のうち、「第一志望」は1,222名(63.8%)、「第一志望以外」は694名(36.2%)であった。
第一志望以外の内訳をみると、「国公立志望」が29%を占めており、第一志望以外の多くが国公立志望であったことが示された。

2 入学理由

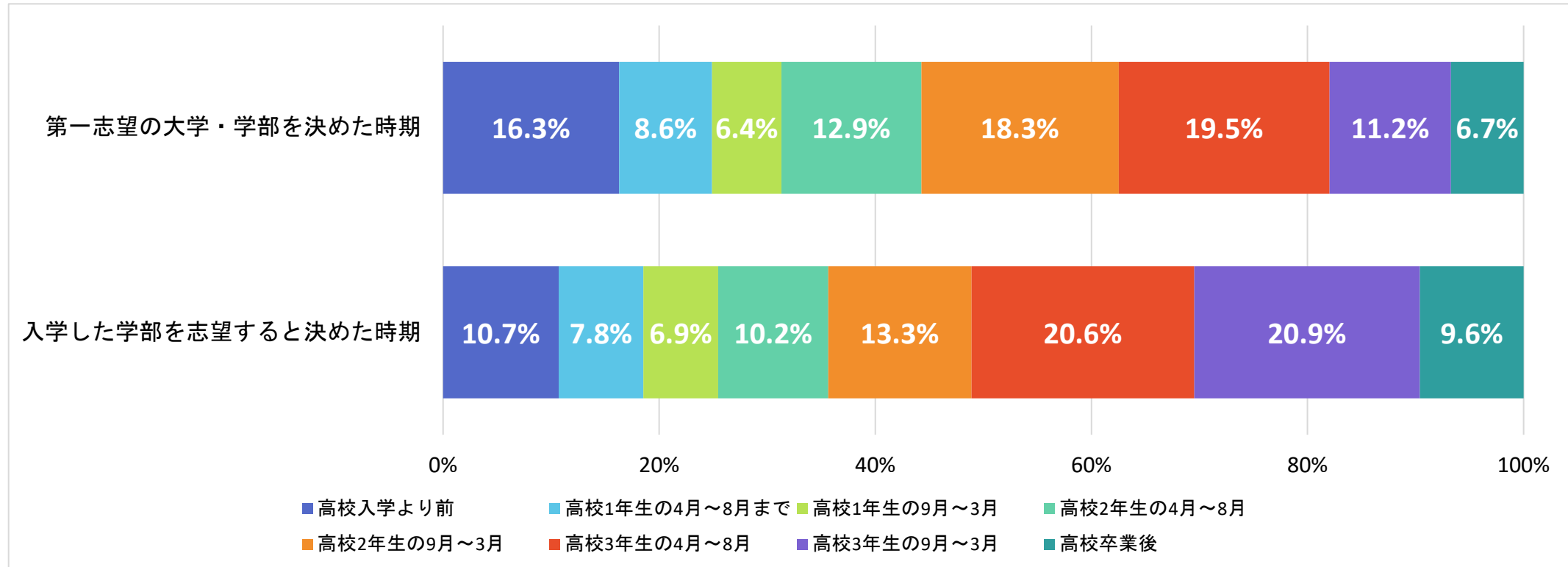
Q 本学に入学した理由として、それぞれの程度当てはまりますか



- ・「知名度があるため」が94.6%と最も高く、本学の社会的な認知度が入学先の選択に大きく関係している。
- 次いで、「幅広い分野の知識を学ぶ環境」(88.4%)、「就職の実績」(87.2%)が高く、教育環境や卒業後の進路への期待がうかがえる。
- ・「家族や周囲から勧められたため」も63.8%を占め、身近な人からの評価や助言も進学先の選択に一定の影響を与えている。

3 志望大学・学部決定時期

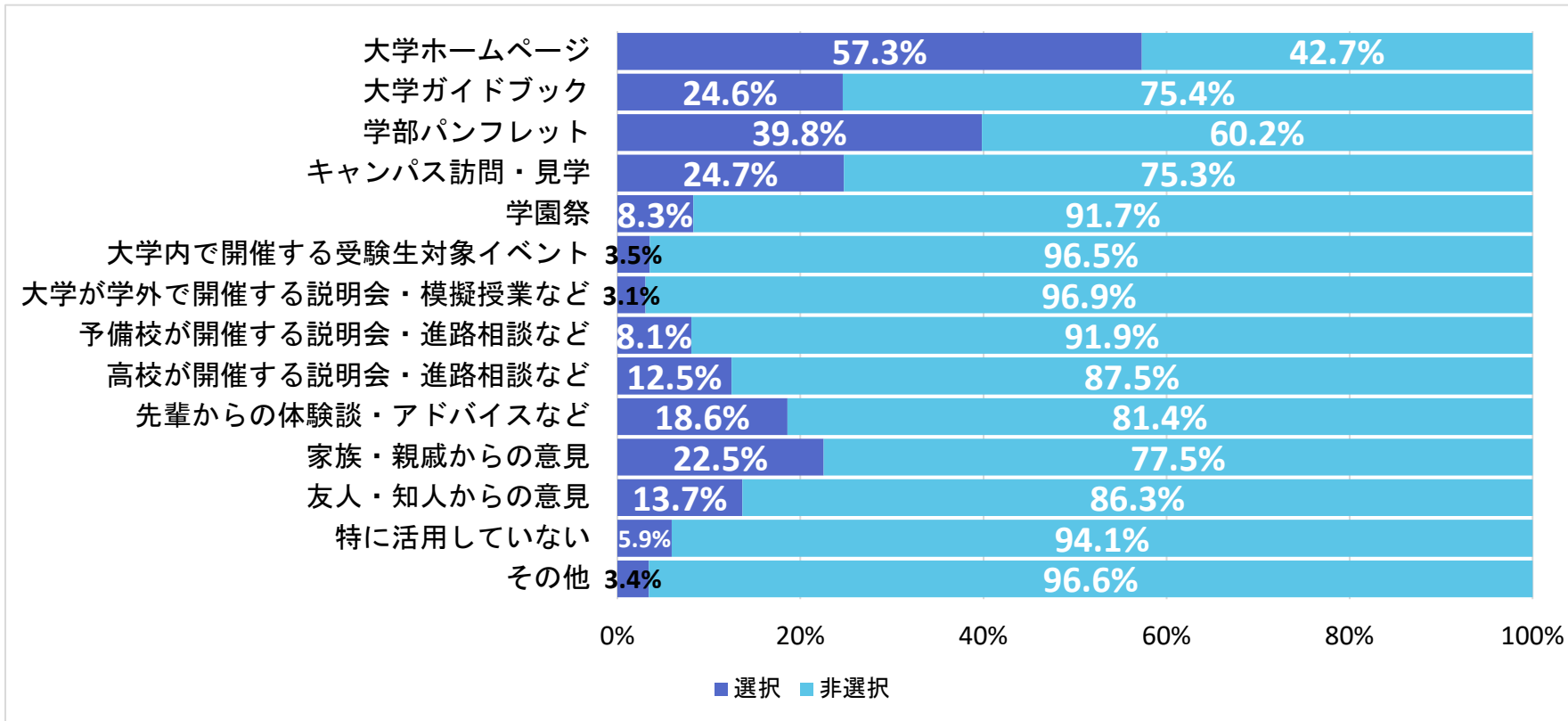
Q 第一志望の大学・学部および入学した学部を決めたと決めた時期について教えてください



- ・第一志望の大学・学部および本学部への志望を決めた時期は、幅広く分布していた。
- ・第一志望を決めた時期は、高校2年生(31.2%)と高校3年生(30.7%)がそれぞれ約3割を占め、最も多かった。
- ・志望を決めた時期は、高校入学前が10.7%、高校1年生が14.7%、高校2年生が23.5%と、学年が上がるにつれて徐々に高まり、高校3年生以降が過半数の51.1%を占める結果となった。

4 情報収集に活用したもの

Q 大学や学部を選択する際に参考にしたこと、情報収集に活用したものを3つまで選択してください



- ・最も参考にされていたのは「大学ホームページ」(57.3%)であり、次いで「学部パンフレット」(39.8%)、「キャンパス訪問・見学」(24.7%)、「大学ガイドブック」(24.6%)であった。
- ・続いて、「家族・親戚からの意見(22.5%)」や「先輩からの体験談・アドバイス(18.6%)」が多く、各種説明会・イベント(3.1～12.5%)よりも、身近な人からの具体的な意見や実体験をより重視する傾向がうかがえる。

5 1週間の生活時間(高校2年時点)

Q 平均的な1週間のうち、以下の活動に充てていた時間を選択してください

高校・予備校・塾での勉強（自宅での予習・復習を含む）

上記以外での自主的な勉強（資格取得など）

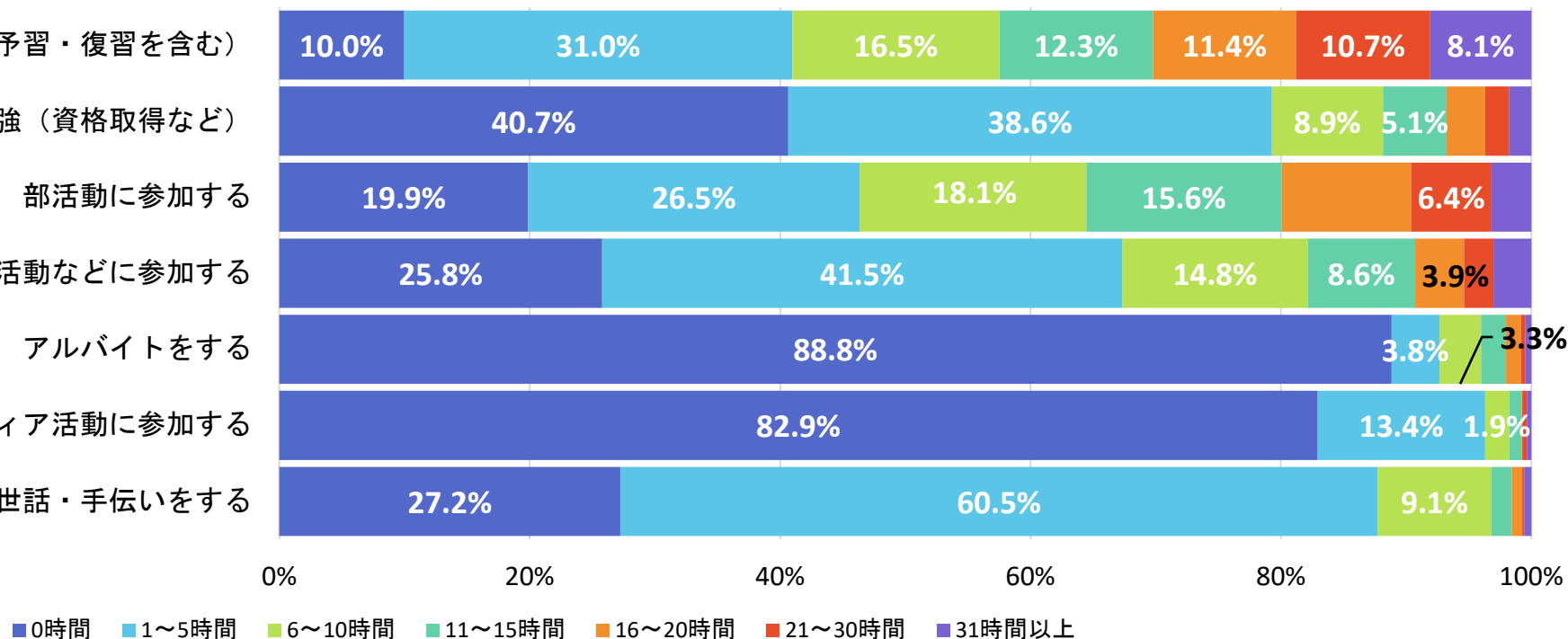
部活動に参加する

趣味や習い事、クラブチームの活動などに参加する

アルバイトをする

ボランティア活動に参加する

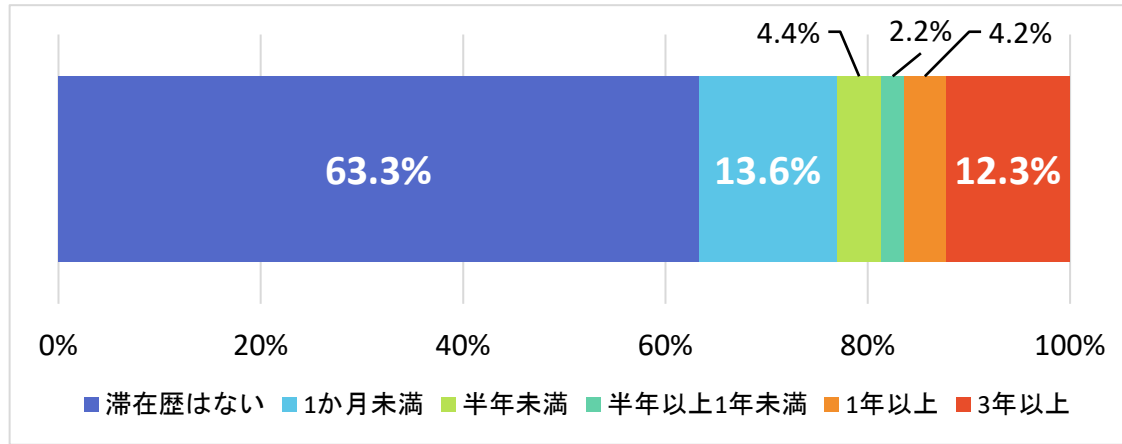
家事や家族の世話・手伝いをする



・高校2年時は部活動や趣味を「週1～5時間」で行うなど、多様な活動を両立していた。
 当時の勉強時間は「週6～20時間」が40.0%と最多で、次いで「週1～5時間」が31.0%であった。
 また、当時から資格取得などの自主的な勉強に取り組んでいた学生も59.0%を占め、入学前から高い学習意欲がうかがえる。

6 海外滞在歴

Q 大学入学までに、海外旅行を除いて、海外の滞在歴があるか教えてください

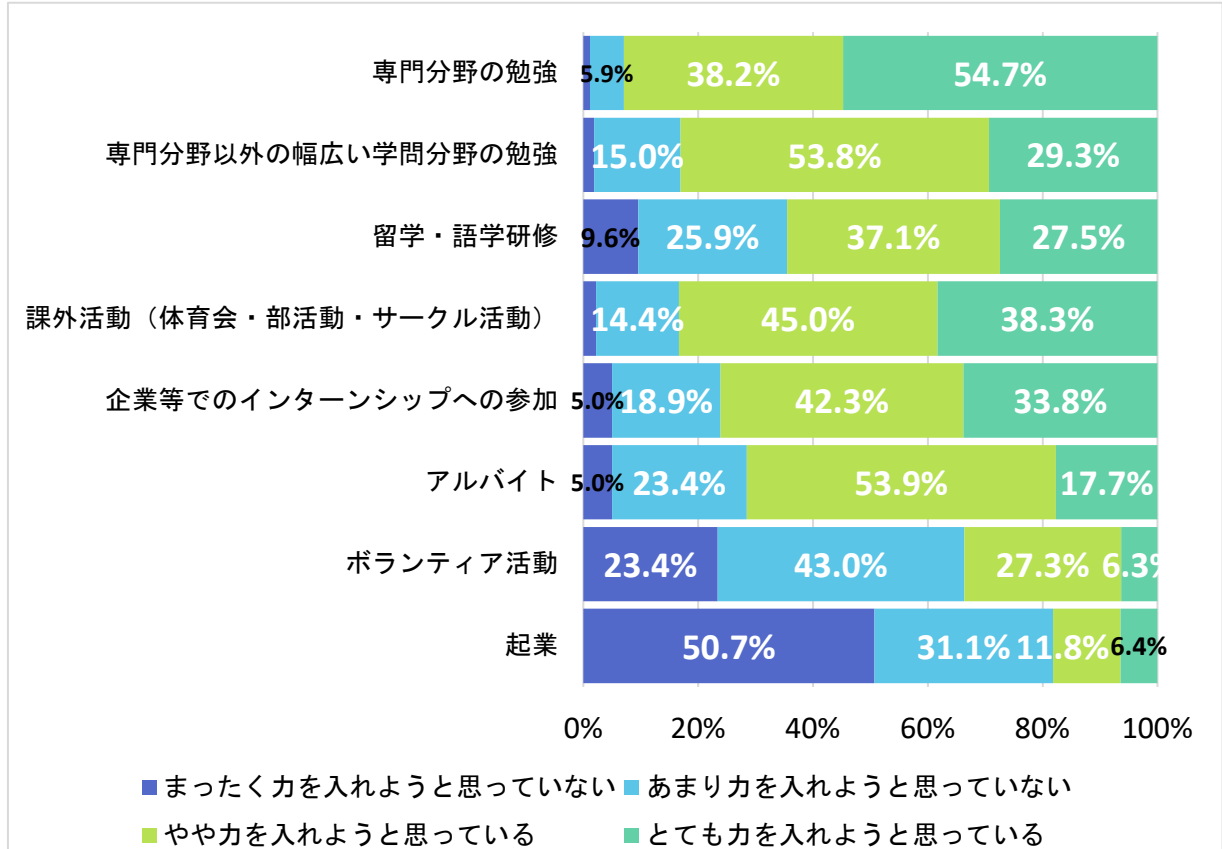


・大学入学までに海外滞在歴のある学生は36.7%であり、滞在期間は「1か月未満」(13.6%)と「3年以上」(12.3%)が多かった。

・最も力を入れたい活動は「専門分野の勉強(92.9%)」が最多であった。
 ・次いで、「課外活動(83.3%)」と「専門分野以外の幅広い学問分野(83.1%)」が8割を超え、「インターンシップ(76.1%)」や「アルバイト(71.6%)」も7割を上回るなど、多様な活動への高い意欲がうかがえる。

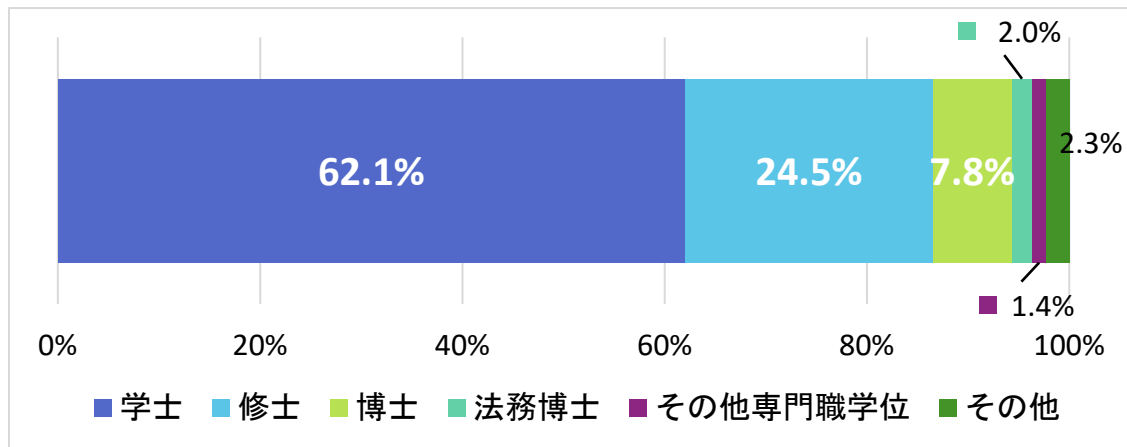
7 大学で力を入れたい活動

Q 以下の活動について、大学ではどの程度力を入れたいですか



8 現時点で希望している最終学位

Q 現時点で希望している最終学位を選択してください

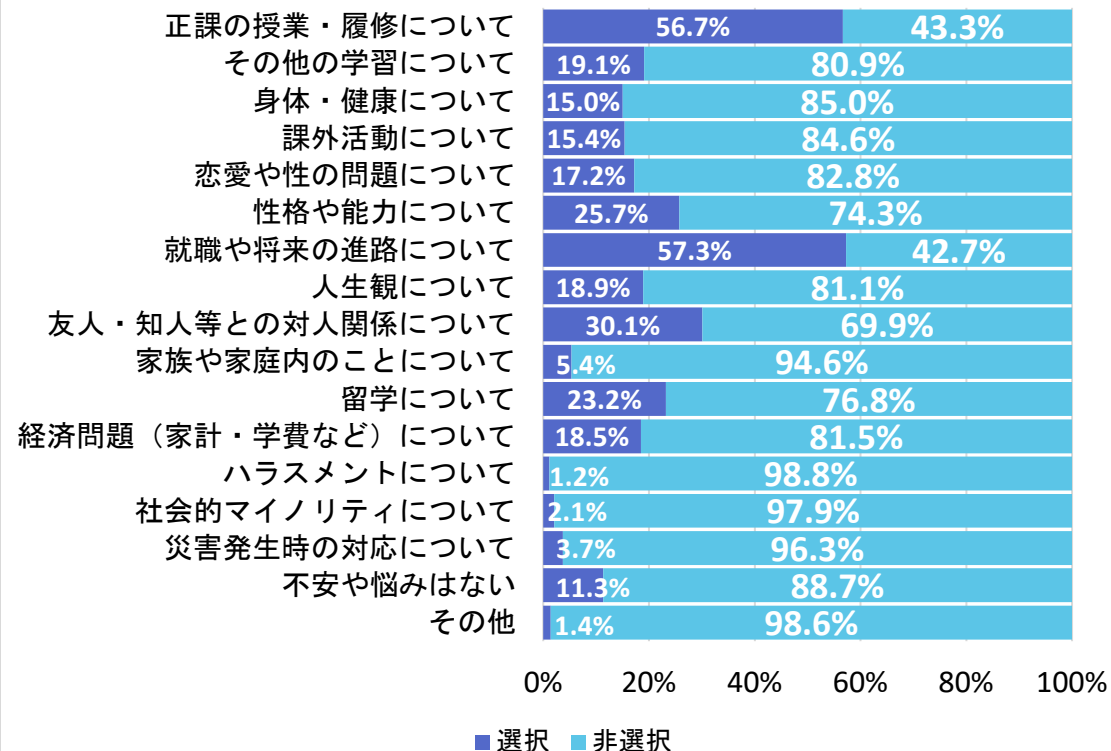


・調査時点で大学院への進学を希望する学生が34.3%を占め、およそ3人に1人にのぼる高い進学意欲が示された。

・新生の約6割が、「正課の授業・履修」および「就職や将来の進路」に不安や悩みを感じていた。
 ・次いで、「友人・知人等との対人関係(30.1%)」、「性格や能力(25.7%)」、「留学(23.2%)」が多く、学業や進路のみならず、大学生活への適応に関わる多面的な不安や悩みがうかがえる。

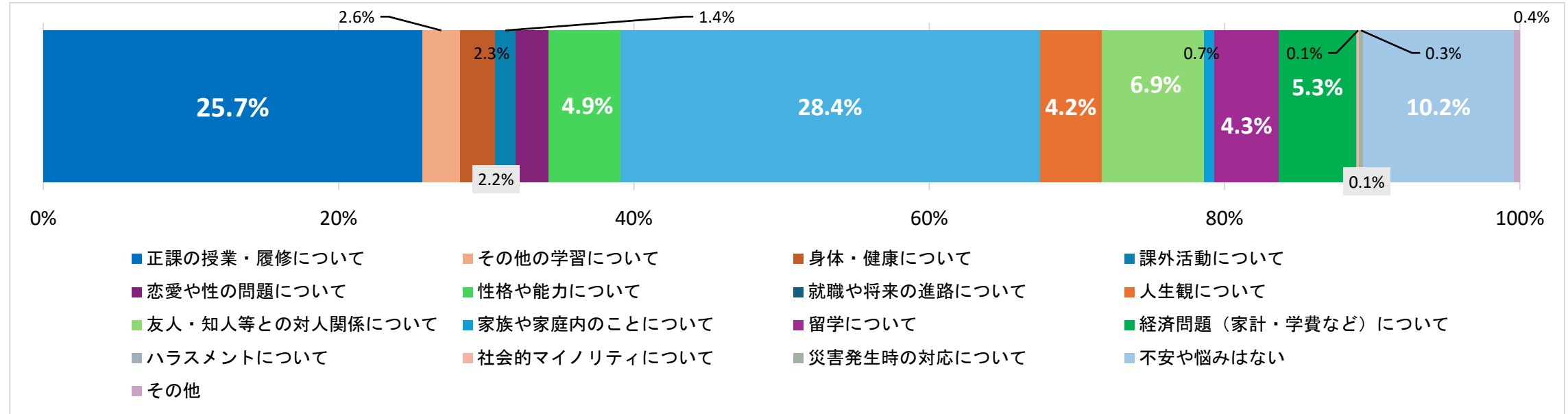
9 大学生活における不安や悩み

Q 大学生活の中で、不安や悩みはありますか？
 あてはまるものをすべて選択してください



9 大学生活における不安や悩み

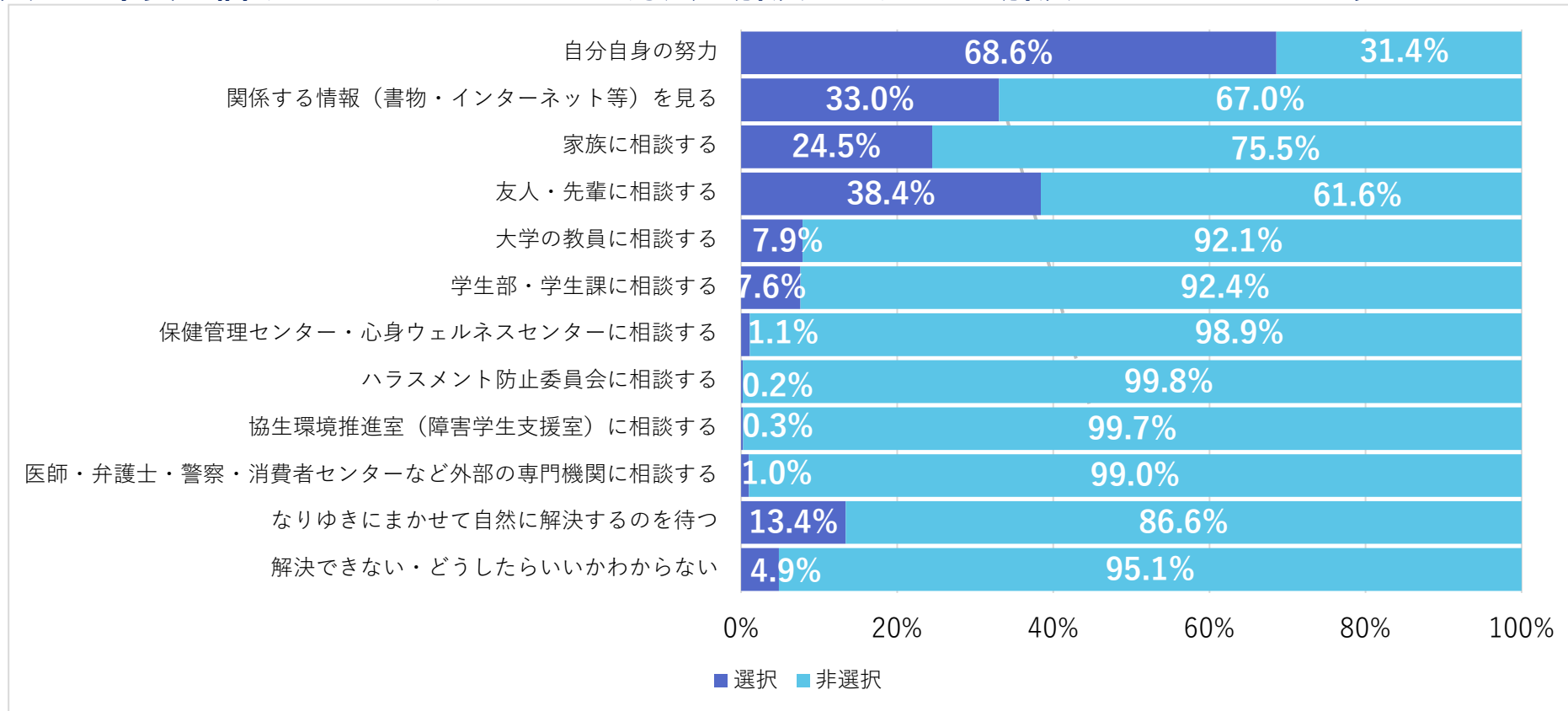
Q 最も大きな不安や悩みを1つ選択してください



・最も大きな不安・悩みとして多く挙げられたのは「就職や将来の進路」(28.4%)であり、次いで「正課の授業・履修」(25.7%)であった。

10 不安や悩みの解決方法

Q 最も大きな不安や悩みについて、どのような方法で解決した、または解決しようとしていますか



- ・不安や悩みの解決方法としては、「自分自身の努力」が68.6%と最も高く、「友人・先輩に相談する」(38.4%)、「関係する情報を調べる」(33%)、「家族に相談する」(24.5%)が続いた。
- ・自力での解決や身近な人への相談が中心であった。